

1月6日（月曜日）

（第698号）

令和7年（2025年）

全木連時報



木材産業シンボルマーク

発行所

一般社団法人 全国木材組合連合会

所在地 東京都千代田区一番町25番地

☎ 03(6261)9140

URL <https://www.zenmoku.jp>

謹賀新年



年頭のご挨拶

一般社団法人全国木材組合連合会

会長 菅野 康 則



新年あけましておめでとうございませう。旧年中は、皆様方には本会の運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、ウクライナ侵攻や中東の戦況が常態化するなど、国際社会が不安定化の度合いを強める中で、日本経済・社会は、賃上げを上回る物価高、株価や円の高値下などがみられ、国民の暮らし全般にも不安定さが進みました。木材産業では、これまでの取組の成果から非住宅の木造物件も徐々に増えてきているとは言え、少子高齢化の進行や住宅価格の上昇等により、戸建て住宅の着工が減少していることに加え、資材費やコストの増高等の影響により、大変厳

しい経営環境の一年となりました。

反面、我が国の人工林資源は成熟期を迎え、合板、集成材、CLT等の技術開発はもとより、製材においては横架材など大きな規格の製品でも品質を向上させ、安定供給できる体制が整ってきています。また、「都市（まち）の木造化推進法」のもと、都市部においても木造による中高層ビル、商用・事業用施設等の建設が全国各地で着実に進んでおり、新しい市場が拡大しつつあるところと見られます。

このような木材需給の活性化の機運を迎える中で、「2050年カーボンニュートラル」の実現、持続可能な森林資源の循環利用、地域経済への貢献など、社会・経済からの様々な期待に応えるため、「伐つて、使つて、植えて、育てる」のローガンの下、他の森林・林業・木材産業関係団体とともに、林業・木材産業が新しい時代にふさわしい局面を迎える一年にしたいと祈念してまいります。

求められる品質や生産技術の向上、需要に応じた供給が可能なサプライチェーンの構築、木材の利用拡大などに取り組んでいきたいと考えています。また、本年4月には改正「クリーンウッド法」が施行されることから、林業・木材産業の全てに事業者において、合法性が確認された木材のみを流通させる義務を負うことを、我々、木材事業者は認識していかなければならないと思っております。時勢が求める流れに円滑に乗っていかねばなりません。

さて、今年の干支は乙巳（きのとみ）です。「乙」は「樹木」が広がって成長していく様子を表し、「巳」は「豊穡や金運を司る神」だったり「再生」の象徴だったりするようで、これまでの努力が成長や結実を迎える年になると言えるかもしれません。

全木連といたしまして、木材を優先する社会（ウッドファースト社会）の実現を目指し、地球温暖化の防止、地域社会の活性化に大きく貢献する木材の利用を拡大していくため一層努力して参りますので、皆様方の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

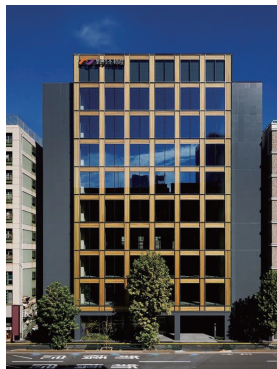
本年が皆様方にとりまして素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和6年度 木材利用推進コンクール(内閣総理大臣賞) 野村不動産溜池山王ビル(東京都港区)

<施設概要>

使用する木材について計画初期段階からBIMを活用した木材使用量の見える化などにより、ほぼ全ての木材を国産材により調達。都心における高層木質建築物の実現に求められる高い耐火性・耐震性に対して、2時間耐火認定の木質耐火構造部材(柱・梁)の開発など、木質ハイブリッド技術の深化・発展を通じて合理的に解決を図った。

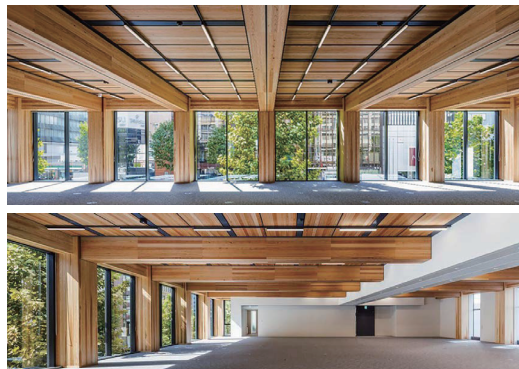
外装面にグリッド状に配列した木質耐火構造部材の柱・梁、南北の外部環境を最大限採り込む21m×18mの開放的な木質無柱空間などにより、都心のオフィス街において木質建築として特徴のある外観の創出、ワーカーの知的生産性への寄与など実現し、中高層オフィスの木質化事例としての貢献が期待される。



建物外観



建物外観(アップ)



建物内観

第59回全国木材産業振興大会(大阪大会)

期日：令和7年9月4日(木)

場所：大阪市中央公会堂 大阪府大阪市(懇親会会場：同公会堂)

☆木材利用促進のため、大勢の参加で大会を盛り上げよう!

年頭のご挨拶

全国木材協同組合連合会

会長 平方 宏



新年おめでとうございます。輝かしい新年の年頭に当たり一言ご挨拶申し上げます。皆様方には本会の業務運営にご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、記録的な高温や全国各地で豪雨災害に見舞われ、特に、年初に地震により大きな被害を受けた能登半島では、9月下旬の豪雨により再度災害に見舞われました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日でも早い復旧・復興を祈念いたします。近年、自然災害の増加に加え、農作物、自然環境や産業・生活環境全般に対する地球温暖化の影響が顕著に現れるようになってきたと実感しています。

我が国では、「2050年カーボンニュートラル」を目標に掲げ、官民を挙げた取組が行われています。森林・林業・木材産業分野では、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を進め、木材利用を推進することにより、地球温暖化防止に貢献する取組を行っているところであり、林野庁や国土交通省をはじめ国においては、都市部での木材利用、とりわけ国産材の活用に関する予算措置や施策の拡充等に取り組んでいただいているところです。

最近では、民間の木造中高層ビルを目にする機会も増え、都市部においても森林や木材に対する理解や期待が高まってきています。木材利用の取組に対しては、このような強い追い風が吹いておりませんが、この追い風をしっかりと捉え、国内の森林資源を有効に活用し木材の持続的な利用を着実に進めていくためには、今後とも業界自らが率先した取組を進めていくことが大事であると考えます。

特に、木材がこのような社会の要請に応えられる再生可能な

資源として期待されている今、合法性や持続的に経営されている森林からの産物であることが確認された木材を供給、利用していくことが、これからの木材産業にとって大変重要なことと考えます。また、我が国の森林資源を有効に活用し、持続的な資源の循環利用、木材利用の推進を着実に進めていくためには、私ども業界自らが、川上・川下の皆様と連携して安定したサプライチェーンを築くとともに、合法性が確認された木材であることはもとより、木材が選ばれるような品質・性能の確かなJAS製品等の供給、木材利用の推進の働きかけなどの取組を更に進めていかなければなりません。

全木協連では、木材利用促進のための利子助成やリースに対する支援、共同事業、共済事業、外構部の木質化対策支援事業などを推進しています。これらの事業を通じて木材事業者の体質を強化し、供給体制の整備などに全木連とも力を合わせ取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が木材産業界並びに皆様方にとりまして、明るい一年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

皆様に安心を提供する

全木連グループの各種保険制度

～ケガ・病気の入院などの備えに～

従業員のために中型グループ

総合賠償補償制度

【第三者への事故対策に！】

任意補償制度

【労働災害への対策に！】

経営者のために総合保障プラン

木退協

【従業員の退職金の準備に！】

第16回新たな「木材利用」事例発表会

日時…令和7年2月19日（水）13:30～16:00

場所…木材会館 7階ホール（江東区新木場）

主催…（一社）全国木材組合連合会

木材利用推進中央協議会

定員…150名

（一般消費者、建築・設計、木材関係者等）

年頭所感

林野庁長官 青山豊久



新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年は、1月1日に発生した能登半島地震、9月20日からの大雨をはじめ、大きな自然災害が全国各地で発生しました。亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。また、被災地で復旧・復興に尽力されている関係者の皆様方の御努力に敬意を表します。

林野庁としても、令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けて「奥能登地区山地災害復旧対策室」を設置し、国直轄による災害復旧事業等に当たっているところであり、被災地の一日も早い復旧・復興に向けて全力で取り組みます。また、災害はいつどこで起こ

るか分からないという考えの下、防災・減災、国土強靱化のための森林整備・治山対策を強力に推進してまいります。

昨年の夏も暑い日が続きました。地球温暖化を防止するためには、温室効果ガスの排出を抑制することが必要とされています。政府は2050年カーボンニュートラルの実現を目指しており、日本全体での温室効果ガスの排出削減とともに、森林などによる炭素吸収が必要と

我々森林・林業関係者としては、内閣府の森林に期待する役割についての世論調査でも、「地球温暖化の防止」を挙げた人が最も多いことを踏まえ、しっかりと森林を整備し、二酸化炭素を効率よく吸収させていく必要があります。

戦後我が国で造成されてきた人工林の約6割が50年生を超え、高齢級化が進み毎年の吸収量が減少する一方、木材としての利用期を迎えており、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を確立し、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献していくことが必要で

森林資源の循環利用は、山村地域の経済の活性化に寄与するとともに、伐採した木材を木造建築・木材製品として利用することで、まちの中でも炭素を貯蔵していくこととなります。

このため、林野庁では、路網の整備や再造林の低コスト化、木材加工流通施設の整備等による生産基盤の強化、JAS材やCLTを用いた建築実証等による木材の需要拡大、技能検定制度の活用等による担い手の育成・確保など、川上から川下までの総合的な取組を進めてまいります。

併せて、国民の4割以上が罹患しているといわれる花粉症への対応については、発生源となるスギ林の伐採・植替えや需要拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大などの取組を進めます。

また、J-クレジット制度では、これまでに約1,100万トンCO₂が認証されており、このうち、約110万トンCO₂が森林由来の吸収系クレジット、約170万トンCO₂が木質バイオマス由来の削減系クレジットとなっております。森林由来のクレジット認証量は年々増加しており、民間資金の呼び込みに向けて、引き続きクレジットの創出とカーボン・オフセットへの活用の拡大に取り組みます。

の利用促進に加えて、病院や福祉施設などの公共建築物、オフィスや商業施設などの中高層建築物の木造化・木質化を進め、国産材需要のさらなる拡大に努めます。

「都市（まち）の木造化推進法」に基づく国と事業者等による建築物木材利用促進協定の締結件数は、昨年10件が加わり計25件となり、小売業者などの木材の最終消費者との協定も広がりつつあります。これをさらに拡大し、建築物への木材利用を促進します。

林業界における人手不足が課題となる中、外国人材の受入れに向けて、昨年9月、複数年の就業が可能な特定技能1号、技能実習2号・3号の適用対象に林業が追加されました。引き続き業界団体の皆様とも連携し、作業現場における労働安全の確保に配慮しつつ、外国人材も含めた担い手の育成・確保に取り組んでまいります。

本年は、林業関係の制度にいくつか動きがあります。森林資源の循環利用を進めていくためには、市町村や都道府県、地域の関係者と、受け手となる林業経営体の連携を強化し、迅速に集積・集約化を図る必要があります。新たな仕組みを創設するため、森林経営管理法の改正法案を通常国会に提出します。

策を強化するため、クリーンウッド・ナビでの情報提供や説明会等により制度周知を徹底するとともに、事業者負担軽減のためのシステムの運用を開始し、合法伐採木材等の流通及び利用を促進します。

林野庁としては、これらの取組を通じて森林・林業・木材産業を持続的に発展させていくとともに、我が国に暮らす全ての皆様、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、公衆の保健、地球温暖化の防止、林産物の供給など森林の有する多面的機能の恩恵を末永く享受できるように、民有林・国有林が一体となり日々邁進していく所存です。本年も、関係者の皆様、そして国民の皆様の御協力をお願いいたします。

結びに、本年が、皆様一人ひとりにとって実り多き素晴らしい一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。



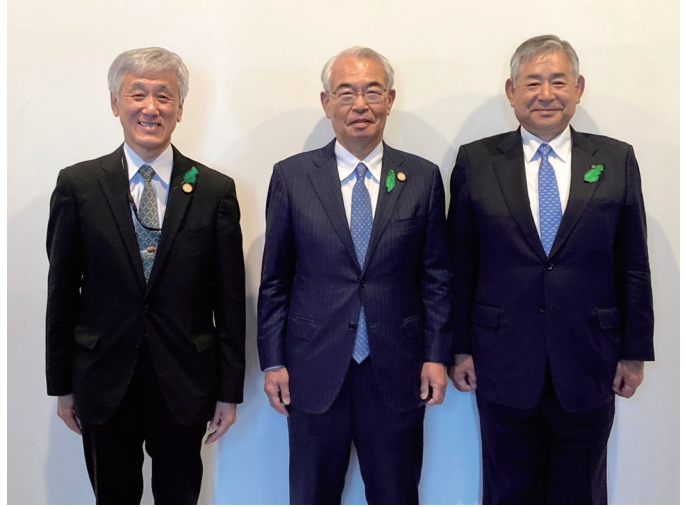
福寿草

令和6年 重大ニュース

5月



5/17 令和7年度予算要望等活動（青山豊久 林野庁長官）



5/16 新体制発足。全木協連会長に平方氏



5/29 令和7年度予算要望等活動（岸田文雄 総理大臣表敬訪問）



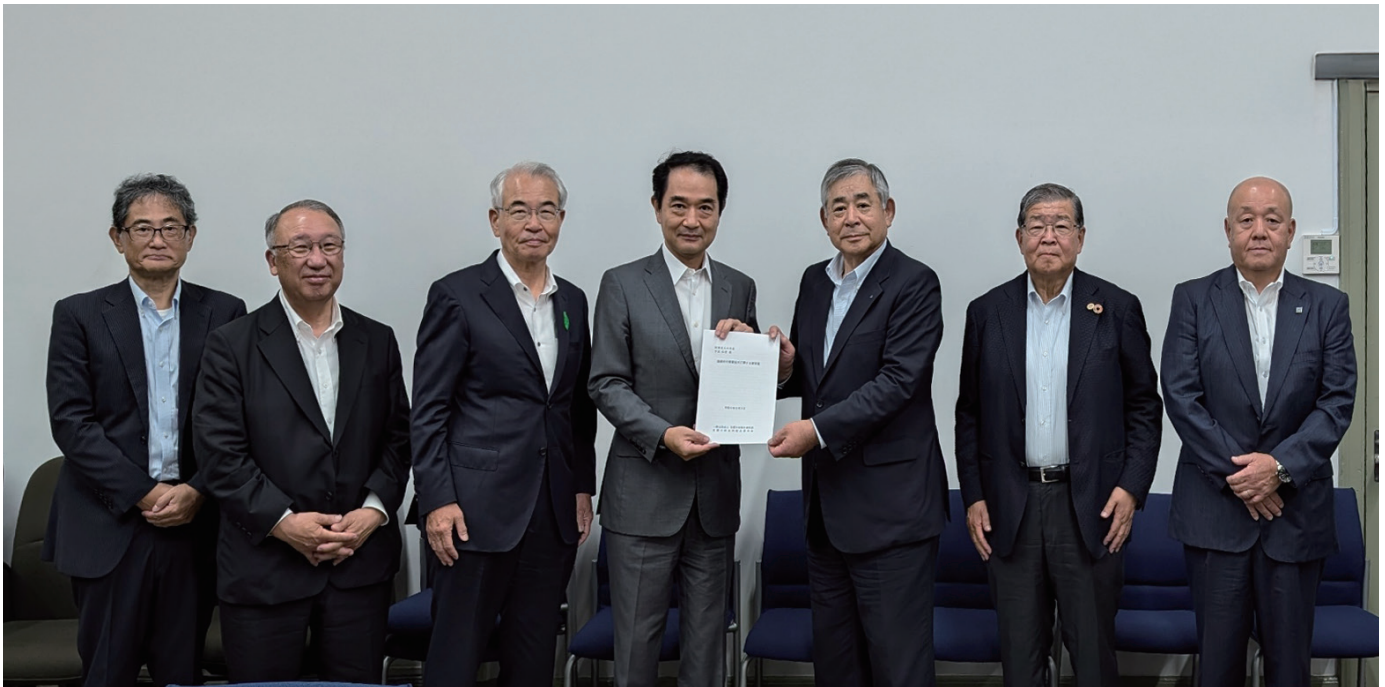
5/17 令和7年度予算要望等活動（石坂聡 国土交通省住宅局長）



6/10 全木連・全木協連等の事務所を移転（東京都千代田区の全国町村議員会館）



6月



8/9 令和7年度予算要望等活動（宇波弘貴 財務省主計局長）



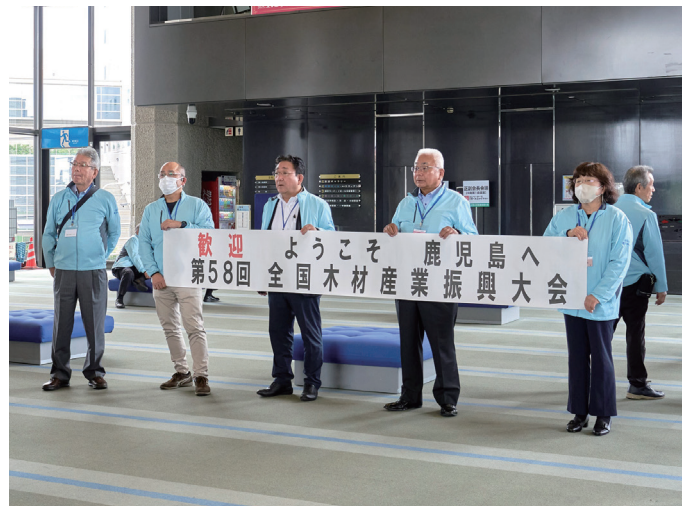
10/31 第58回全国木材産業振興大会（鹿児島大会）



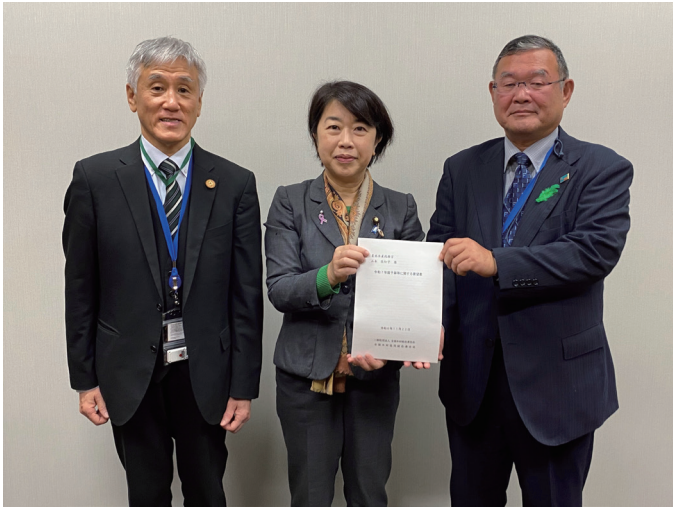
10/25 令和6年度木材利用推進コンクール（内閣総理大臣賞者）



10/31 満員の会場で歓迎の挨拶する柴立会長



10/31 すばらしい 歓迎の横断幕。空港、駅、会場でも「お出迎え」。



11/22 令和7年度予算要望等活動（山本佐知子 農林水産大臣政務官）



11/21 全木連、全木協連等の臨時総会、理事会



12/23 江藤拓 農林水産大臣表敬（本郷副会長）



12/20 木材産業分野の外国人特定技能試験を初めて実施（東京都千代田区）

◎ 好評発売中！

製材作業の入門書、外国人材学習の参考書

○ 製材作業の基礎

A4版 107頁程度 定価 3,000円（消費税込み）

- ・主な内容
木材の性質から、製材作業の工程、木材乾燥、作業安全などについて分かりやすく解説。安全関係では「農林水産業・食品産業の作業安全のための規範」も収録
- ・執筆者等
服部順昭氏（東京農工大学名誉教授）が推薦。桃原郁夫氏（森林総合研究所関西支所長）、村田光司氏（日本木材加工技術協会専務理事）、赤松明氏（ものづくり大学学長）外、製材関係の研究者・技術者陣が執筆

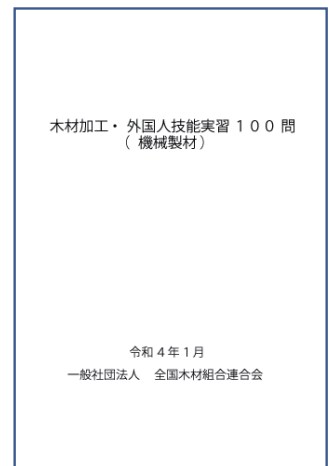
○ 木材加工・外国人技能実習100問（機械製材）

A4版 56頁程度 定価 2,000円（消費税込み）

- ・主な内容
外国人技能実習に必要な木材や製材機械についての知識、製材作業や安全衛生を一問一答方式で取りまとめ。各章ごとに参考問題（1～2号実習生を対象）を掲載し、併せて機械製材作業の資料を収録
- ・執筆者等
全国木材組合連合会で「製材作業の基礎」を基本として、学識経験者（大学、森林総研、業界団体）の協力を得て編集

（ご購入について）

全木連ホームページから購入申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、全国木材組合連合会技能実習評価試験事務局にメール(ginou@zenmoku.jp)、もしくはFAX (03-6261-9133) にて注文してください。



景 況 調 査

令和6年11月分集計表

() 内は実数

〔流通部門〕

モニター数156 回答95 回収率61%

当月の状況

販売量	増加24% (23)	変わらず60% (57)	減少16% (15)
仕入量	増加21% (20)	変わらず60% (57)	減少19% (18)
販売価格	上昇3% (3)	変わらず82% (78)	下降15% (14)
仕入価格	上昇6% (6)	変わらず80% (76)	下降14% (13)

来月の見通し

販売量	増加19% (18)	変わらず63% (60)	減少18% (17)
仕入量	増加16% (15)	変わらず62% (59)	減少22% (21)
販売価格	強含み5% (5)	保ち合い89% (85)	弱含み5% (5)
仕入価格	強含み8% (8)	保ち合い85% (81)	弱含み6% (6)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	9% (6)	66% (43)	25% (16)
南洋材	6% (3)	87% (46)	8% (4)
北洋材 (欧州材を含む)	5% (3)	78% (47)	17% (10)
国産材	8% (7)	71% (60)	20% (17)
建材	17% (10)	68% (41)	15% (9)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	35% (22)	63% (39)	2% (1)

〔製造部門〕

モニター数133 回答88 回収率66%

当月の状況

販売量	増加31% (26)	変わらず53% (45)	減少16% (14)
仕入量	増加24% (20)	変わらず58% (49)	減少19% (16)
販売価格	上昇6% (5)	変わらず86% (73)	下降8% (7)
仕入価格	上昇18% (15)	変わらず79% (67)	下降4% (3)

来月の見通し

販売量	増加21% (18)	変わらず61% (52)	減少18% (15)
仕入量	増加19% (16)	変わらず67% (57)	減少14% (12)
販売価格	強含み6% (5)	保ち合い86% (73)	弱含み8% (7)
仕入価格	強含み16% (14)	保ち合い80% (68)	弱含み4% (3)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	7% (2)	70% (21)	23% (7)
南洋材	5% (1)	77% (17)	18% (4)
北洋材 (欧州材を含む)	7% (2)	75% (21)	18% (5)
国産材	13% (11)	55% (46)	31% (26)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	43% (15)	49% (17)	9% (3)

林業信用保証のご案内



- 林業・木材産業を営む方であれば、どなたでもご利用が可能です。
- 保証料率は財務内容により、年0.15%から1.80%が適用されます。
- 仕入れや人件費の支払い、加工設備の導入等の事業資金全般が対象です。
- 都道府県が無利子や低利で貸し付ける「制度資金」への保証も可能です。



注：ご利用には審査があります。

詳しくはこちらへ

独立行政法人農林漁業信用基金

林業信用保証管理部 TEL03-3434-7825

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>

